

・自然環境を保全し、環境負荷を低減するためには、環境に関心の少ない市民への啓発につながる取り組みが重要と考えます。このため、「環境にやさしい活動実践校の認定」を進めるとともに、環境情報提供事業や省エネ講座などの充実をはかるほか、新エネルギー導入促進補助事業等の拡充により、家庭の日常の暮らしや、業務部門での運用による省エネルギーの取り組みを一層進めます。
・環境モデル都市として、率先して公共施設の省エネ・創エネ化を進め、新エネルギー導入促進事業などをおとし、市民への啓発に努めるなど、低炭素都市の実現に向け積極的に取り組んでいきます。

(1) 環境負荷低減の取り組みの推進

① 環境基本計画推進業務

- 第二期帯広市環境基本計画の推進と進行管理
 - H25環境総合指標：15項目中4項目が指標値達成
- 帯広市環境審議会の開催（委員15名）
- 省エネ法に基づく事務（前年比 年1%以上のエネルギー削減義務）
 - H25実績：市長部局 7.6%削減
 - 上下水道部局 6.7%削減
 - 教育部局 4.6%削減

事業費：3,402千円

② 環境モデル都市行動計画推進業務

- 環境モデル都市行動計画の推進
 - ・ 5つの視点、「住・緑・まちづくり」、「おびひろ発 農・食」「創資源・創エネ」、「快適・賑わうまち」、「エコな暮らし」に基づき55の具体的な取り組み項目の推進
 - H26のCO2削減目標値は、14.0万トン-CO2
 - H25実績（万トン-CO2） 目標：12.1 実績：9.9 達成率：82%
 - ・ 公用車に電気自動車を導入することによるエコカーの普及啓発
 - ・ 帯広市環境基金の管理

事業費：18,959千円

③ エコオフィスプラン推進業務

- 帯広市エコオフィスプランの推進
 - ・ 帯広市役所の事務事業におけるCO2削減の率先行動
 - 第2期（H17～H21）計画最終実績（CO2削減量）
 - △20.6%（対H11） 目標：△13.6%
 - 第3期（H22～H32）行動計画中期実績（CO2削減量）
 - H25年度実績 +9.7%（対H12） 目標：△26.8%
 - ※ H25実績が基準年比で増加しているのは、CO2排出係数（北海道電力）の影響による
 - H23排出係数 0.485kg-CO2/kWh、H24排出係数 0.688kg-CO2/kWh

事業費：0千円

④ 環境保全連携促進事業

- 環境保全推進会議の開催
 - ・ 環境交流会の開催
 - H26で13回目 毎年9～11月開催 H26来場者2,076名
 - ・ ノーカーデーの推進
 - H25 累計6,923名、38,506km、CO2削減9,300トン
 - H16～H26.1 累計67,880名、382,686km、CO2削減92,429トン
 - ・ 環境学習会の開催
 - H26は2回開催 計43名参加
 - 出前環境教室の開催 → H25：38件、1,296名
 - 帯広市町内会連合会（環境衛生部会）との連携
 - ・ 全市一斉河川清掃 → H26：207町内会、3,525名
 - ・ BDF回収など
 - 市民との連携イベント 「ガイアナイト」を開催
 - H26は、おびひろ広小路ビアガーデン時に開催
 - ワットチェックー等（ワットチェックー2台、ワットモニター8台、省エネ灯10台）の貸出
 - H25 貸出実績15件（ワットチェックー2台、ワットモニター3台）

事業費：363千円

(2) 環境学習の推進

① 環境情報提供事業

- 帯広市環境白書の作成
- ホームページ等による環境情報の提供
- 環境月間啓発事業（環境月間：6月）
 - ・ 環境パネル展の開催 → H26：市民ホール及び図書館において開催

事業費：80千円

② 環境学習推進事業

- 環境学習プログラムの作成
- 環境にやさしい活動実践校の認定
 - 認定目標：H31まで全市立小中高校41校の認定
 - H26末（予定）：累計29校 新規認定3校、更新26校

事業費：71千円

(3) エネルギーの有効利用

① 新エネルギー導入促進事業

- 新エネルギー導入への支援
 - ・ 太陽光発電システム補助：300件、貸付：90件
 - ・ 木質ペレットストーブ補助：5件
 - ・ エコジョーズ、エコキュート補助：250件
 - H26実績（H27.1現在）
 - 太陽光発電システム補助：217件、貸付：47件
 - 木質ペレットストーブ補助：3件
 - エコジョーズ、エコキュート補助：246件

事業費：710,486千円

② 新エネルギー率優先的導入事業

- 公共施設への新エネルギーの導入
 - ・ 高効率照明灯：道路照明灯、公園照明灯、防犯灯ほか
 - ・ 天然ガス転換：市立小学校1校
 - H26実績（H27.1現在）
 - 高効率照明灯：道路照明灯、公園照明灯、防犯灯、消防庁舎等
 - 太陽光発電、太陽熱利用：新学校給食共同調理場
 - 天然ガス転換：第四中学校

③ 省エネルギー活動推進事業

- ESCO事業の普及
 - H25実績（本庁舎、とかちプラザESCO事業）
 - 光熱水費削減額：17,801千円
 - CO2削減量：638t-CO2
- バイオディーゼル燃料の利用拡大
 - ・ 廃てんぷら油の回収
 - H25回収量：61,439ℓ、回収拠点：58箇所（H27.1現在）
 - ・ 公用車におけるB100及びB5の利用
 - H25実績：B100 4,732ℓ（公用車5台）
 - B5 72,535ℓ（公用車23台）
- CO2排出削減分の売却
 - ・ おひさまソーラーネット帯広の継続
 - H26.8.4開催の第6回認証委員会においてプロジェクト登録

事業費：440千円

環境推進係 6名 嘱託：環境管理推進員1名、環境都市推進員1名

平成27年度事業の概要（環境都市推進課 環境対策係）

今後の展望

- ・自然環境を保全し、環境負荷を低減するためには、環境に関心の少ない市民への啓発につながる取り組みが重要と考えます。
- ・公害規制に関する調査・監視・指導等に取り組むとともに、畜犬の適正管理、空き地の適正管理の啓発、住民等による自主的な清掃活動のサポートなど、引き続き住みよい地域作りをすすめていきます。

(1) 自然環境の保全

自然環境保全対策事業

- 自然環境保全地区の指定・監視
 - ・保全地区 12箇所
 - ・H27新規 1箇所指定予定
- 環境・植生調査
 - ・H27保全地区指定予定箇所の調査
- 日高山脈襟裳国定公園の国立公園化に向けた情報収集・要望
- 公共工事環境配慮ガイドライン
- 特定外来生物対策（アライグマ等）

事業費：1,519千円

(2) 生活環境の保全

1. 大気・公共用水域監視・測定

- 公害防止センターにおける大気等の監視
 - ・常時監視：SO₂、SPM、NO_x
 - ・酸性雪（市内5箇所）
 - ・アスベスト調査（市内4箇所）
- 市内河川の水質調査
 - ・生活環境項目10河川14地点
 - ・健康項目3河川3地点
 - ・細菌調査6河川6地点年2回
- 地下水等の水位観測
 - ・市内4カ所（工業団地外）
- 土壌汚染の調査
 - ・1ヶ所を予定

● 公害パトロールの実施

2. 騒音・振動・悪臭監視・測定

- 工場等の騒音・振動発生施設の監視・測定
 - ・特定事業場等立入り検査
- 自動車・航空機騒音の測定
 - ・自動車騒音常時監視
 - ・航空機騒音（ヘリコプター）
- 悪臭の測定調査・防止対策の実施
 - ・発生源調査（4箇所）
- 公害事故（油漏れ）等の調査実施

事業費：16,762千円

3. 生活環境保全事業

- 畜犬の登録、適正飼育の指導
 - H27.1現在（登録6,882頭、苦情45件）
- 狂犬病予防注射の接種・促進
 - H27.1現在（注射済4,503頭、65.7%）
 - ・集合注射（H26.4. 799頭 17.7%）
- 空き地の適正管理指導
 - H26苦情受付47件（H27.1末現在）
- エコフレンドの推進
 - 登録：個人427件（454名）
 - 団体66件（1,637名） 合計2,091名
- クリーンキャンパス21の支援
 - 負担金150千円、延べ3,500人
- 町内会の清掃活動支援

事業費：10,984千円

環境対策係 4名 嘱託：公害環境業務推進員1名、畜犬取締及び野犬掃とう業務員2名